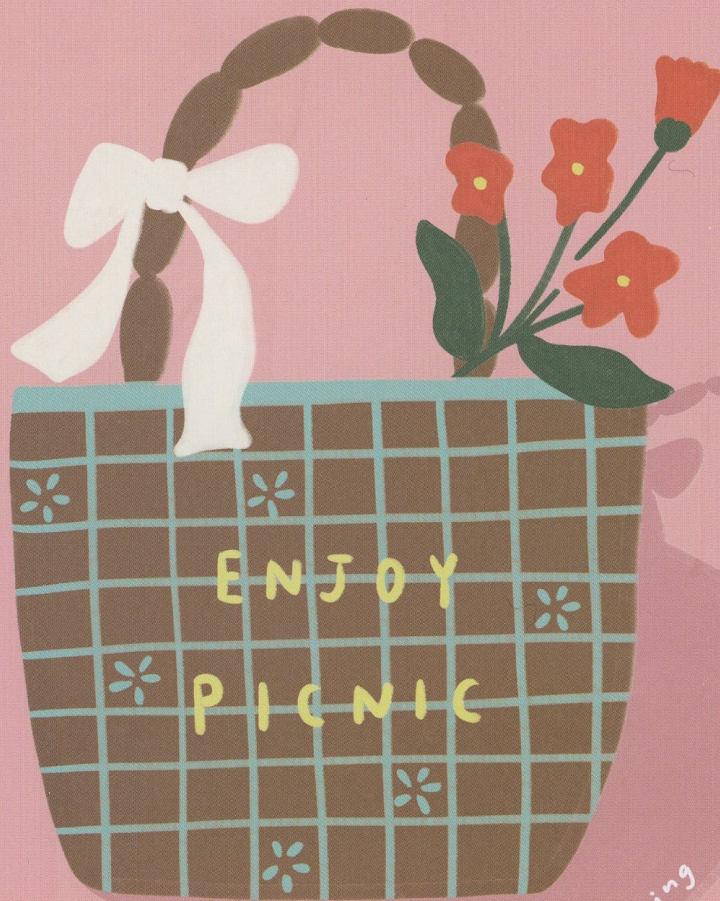


さいとマチナカマルシェ

4/19
10:00-14:00

春の陽に

ほどける1日



New Beginning

19th, April Sunday | "A day unfolding in the spring sun."

Check!

西都市生きがい交流広場・平助通り | 荒天中止
西都市妻町 | 丁目 73



さいとマチナカマルシェカレンダー

4 April

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5 May

S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6 June

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7 July ※お休み

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8 August

S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9 September

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10 October

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11 November

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12 December

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2027

1 January

S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2 February

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3 March

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

開催時間

- 10:00-14:00
- 8:00-12:00
- 17:00-21:00

無料駐車場

- 妻駅舎跡駐車場
- 妻線跡駐車場
- 西都市役所

運営

- 一般社団法人まちづくり西都 KOKOKARA
- 西都市小野崎1丁目55
- 0983-32-6242 / kokokarabox@saito-machi.com

この通信の著作権は妻中学校が有します。無断で文章・画像などの転載を禁じます。

三真の轍 わだち

偲びし憶ゆ(さびしおぼゆ)

つい先日、大学の指導教官の追悼を兼ねた大同窓会に参加する機会がありました。後半の90分は60人の参加者全員による学生時代の振り返りトークでしたが、還暦を超える先輩方から20代の若者までが語り継ぐ思い出話は、まさに研究室の歴史そのものであり、歴史学を専攻した私たちの琴線に触れる時間でありました▼そこで、妻中をいよいよ閉じるにあたり、自分自身も「偲びて憶ゆ」ことを書いておきたいと思えます。【校長訓話について】私は自分が学生時代に集会などで聞いた「校長先生の話」の内容は全く覚えてません。ただし、校長先生の話の最後はいつも決まったように「真実を求め、真実を語り、真実を行う」で結ばれていたことだけは覚えています。そのおかげでしょうか、我々の世代には物事の本質を求めて問いを持つクセが刷り込まれていたように思います。妻中三真の教えは、一生大切にすべき座右の銘なのかもしれません▼【校風について】78代生徒会長の長友大武さんも言っていました「生徒の主体性を大事にする」という校風が昔からありました。先生方はあまり細かいことを言わず、教えず、大らかに我々を育ててくれたように思います。校則の改正や行事の企画などは私の時代から生徒の手に委ねられていました。そのためか、我々の世代は、あまり他人のせいにはせず、常に自分に問うクセもつけもったように思えます。こうした伝統はぜひ西都中にも引き継いでいきたいと思っています▼今回のコラムタイトル「偲びて憶ゆ」は、同窓会の折に発刊された追悼論集に掲載されていた友人の寄稿文タイトルであり「振り返った時にじみじみと心に浮かぶこと」という意味でしょう。実に良き響きであり、今回使わせていただきました。私達妻中卒業生もぜひ、お世話になった母校のことを偲びて憶ゆときだとお伝えし、三真の轍の筆を置かせていただきます。

在りし日々 偲びて憶ゆ 春の校庭 (28代校長 伊東泰彦)

空から見た妻中



s22



現在

校章 s22制定



校章の由来 桜の花は、西都原の桜や木花咲耶姫伝説などから妻地方を象徴。両翼は中学生の未来と希望を意味し、双桜は男女共学を意味している。



s46



鉄筋校舎と講堂



シンボルツリーのセンダン



妻中最後の卒業式を行いました！



入場



点呼



式辞・祝辞



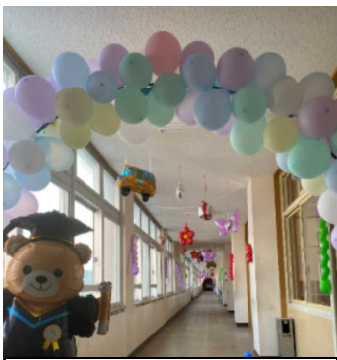
証書授与



答辞・送辞



卒業式の歌



保護者の方々による飾り付け

妻中として最後の卒業式を、3月16日第79回卒業式を行いました。170名の挙行が卒業し、歴代卒業生数は合計19577人となりました。今年卒業生は生徒間のチームワークが良く、オンとオフのけじめが強いにも力が入るなど、妻中の最後を飾るにふさわしい卒業式の日々を写した裏から皆さんの参加した言葉や声を、皆さんの褒め言葉をいたくさんのお褒めの言葉をいたく皆さんのまぶたの裏に妻中皆さんのまぶたの裏に妻中での日々が写り、皆さんを強くしてくれたいことを願います。答辞の中で長友さん「妻中の伝統を西都中に引き継いで欲しい」と言うてくれまして、妻中の良いさをさらに伸ばしながら、新しい西都中の基礎を作りたいと思います。ありがとうございます。卒業生の皆さん、ありがとうございました。

【最近の学校の様子】



新しい校訓「スクールコンパス」



建設中の新しい正門とフェンス

13名の先生方が市外転出又は退職されます！ 他の職員は西都中となります！！

- 教 頭 門松 直子 先生 (木脇中へ)
- 事務主幹 原田 義和 先生 (延岡市立岡富中へ)
- 主幹教諭 右田 克宏 先生 (※教頭昇任、加久藤中へ)
- 教 諭 西岡由海子 先生 (宮崎市立大塚中へ)
- 教 諭 石井 純子 先生 (川南町立国光原中へ)
- 教 諭 長友真奈美 先生 (宮崎市立久峰中へ)
- 教 諭 稲田 友則 先生 (ご退職)
- 教 諭 日高恵里子 先生 (ご退職)
- 教 諭 中武秀一郎 先生 (※指導教諭昇任、美郷町立美郷南学園へ)
- 教 諭 長友 綾香 先生 (ご退職)
- 講 師 本田 賢輝 先生 (東大宮中学校へ) ※新規採用
- 講 師 藤原 崇寛 先生 (ご退職)
- 会計年度職員 佐田喜代子 先生 (ご退職)

この通信の著作権は妻中学校が有します。無断で文章・画像などの転載を禁じます。

妻中閉校の閉校式典を実施しました！



校旗返納



代表生徒（3年）による思い出トーク



市長へ ← 教育長へ ← 校長へ ← 現生徒会長へ←元生徒会長から

【伝統ある校旗】
 両翼と双桜から成る校章。
 両翼は中学生の未来と希望を、
 双桜は男女共学を意味している。

三真の轍 わたち

閉校の辞々要約

創立以来

79年間、偉大な歴史を紡いできた妻中も、ついに歴史の大尾を迎えた。その惜別の儀を盛大に開催できることに心より感謝する。
 本校は、戦後の学制改革によって県下に開校した学校の一つ。当初は妻小学校内への併設だったが、5年後に妻北小と妻南小が開校して完全独立学校となった。

実は私自身も第35回卒業だが、私たちは三階建ての南校舎と同年齢であり、何か特別な縁を感じる。
 私が学生時代の西都は、野球場や市体育館、武道館、第2体育館ができて、まだ各家庭にエアコンがあるかないかの時に学校が全館冷房となって驚いた。この昭和後期は、中学生個人の成長と人口、街の成長などがすべて右肩上がりという不思議な時代だった気がする。

その後平成期に入ると、体育館建て替えや校舎改修が進み、弓道部の全国優勝をはじめ多くの部活動が好成績を収めるなど、妻中は文武両道を体現しながら閉校までに19577人の卒業生を輩出した。しかし、時代が進むにつれて社会の様子は一変、いつの間にか人口減少社会が到来し、地域のシンボルだった学校の姿は次々と縮減。妻中でも、最大時には1447人だった生徒数が今は508人、西都市全体でも最大4297人だった生徒数が今は750人に縮減し、4月からは西都中に再編、新たな時代が幕を開けるとなった。

近代史の中で、同じように新時代の幕開けであった明治時代、発展する社会の中で躍動する若者の姿を作家の司馬遼太郎氏は、「坂の上の雲」と名付け、同著作の登場人物にその姿を投影した。今度是我々も、これからの時代を生き抜くこの子らが、校歌に謳われる「清新の雲」から、今後は「令和の坂の上の雲」となって活躍する姿へ思いを馳せたいと思う。

さて、妻中最後の年月をこの学校で過ごした生徒の皆さんにお願いがある。それは、伝統ある妻中校歌の志を忘れないで欲しいということ。校歌の冒頭の言葉には、その学校の理想像が表現されていると言われるが、「清心の雲」とは「誠実でまっすぐな心」という意味である。加えて妻中の校歌には、真実を求め、語り、行うという三真の教えも謳われている。本校卒業生である私自身にも当てはまるが、私たち妻中の卒業生は、これからの激変時代の中においても、常に誠実でまっすぐな心を持ち、真実を求め、真実を語り、そして真実を行う人であろうと思う。

結びに、79年の長きにわたって本校を支えてくださった地域の皆様、ご支援ご協力をいただいた歴代卒業生や保護者の皆様、そして歴代校長をはじめ旧職員の皆様のご尽力、更にはご指導ご支援を賜った西都市教委に敬意と感謝の意を表するとともに、すべての皆様方のご健勝とご発展を祈念申し上げます。

（第28代校長 伊東泰彦）

79年の歴史への惜別の式典

妻中79年の歴史に幕を閉じ、新たな西都中史へバトンをつなぐ惜別の式典を3月6日に開催しました。押川市長や榎本教育長など多数の関係者の皆様のご臨席を賜り、厳粛かつ和やかな雰囲気の中、まずは中庭で記念碑の除幕式を行い、その後体育館にて約700人が参加しての式典を行いました。式辞



市長挨拶



教育長告辞



校長挨拶



実行委員長開式の辞



振り返りの対談：校長（35回卒）、教育長（30回卒）、大塚さん（10回卒）、現生徒会長

や挨拶の後、生徒スタッフがドキュメンタリー映画監督の古木洋平さんの監修を受けながら企画・制作した閉校ムービーを鑑賞した後、代表卒業生による振り返りトークなども行い、最後は吹奏楽部のすばらしい演奏をバックに全員で校歌を歌い上げ、とても思い深い心に残る式典になったと思います。ご尽力いただいた皆様方に心よりお礼申し上げます。



実行委員・門松教頭による閉式の謝辞



【閉校記念の碑】



式典の後、第二部では宮崎県出身のシンガー・ソングライター・Bigfumi（ビッグフミ）さんがミニコンサートを行ってくださり、妻中生へ歌のエールを送ってくれました。「つらいことがあった時は歌を」、「学生時代の『勉強』とは、自分がつらいことから逃げなかったことの証になる」など深い言葉も投げかけてくださり、素晴らしい歌声とともに心に残る贈り物をいただきました。ありがとうございます！



式典に先立って行った除幕式



Bigfumiさんが歌でエール

